

「総合計画」と「まち・ひと・しごと創生総合戦略」の一体化について

1. 「総合計画」と「まち・ひと・しごと創生総合戦略」について

総合計画は市の最上位行政計画であり、10年間のまちづくりの大きな方向性を位置づける計画です。すべての行政施策はこの総合計画に基づいて、取り組みを進めています。

まち・ひと・しごと創生総合戦略(以下、「総合戦略」という)は、まち・ひと・しごと創生法により策定することを努力義務とされており、5か年ごとの目標を立て、その目標に向けて取り組むものです。

○総合計画と総合戦略の違い

総合計画	総合戦略
<ul style="list-style-type: none"> ●まちづくりの最上位計画。 ●10年間のまちづくりの方向性を定める。 ●すべての行政施策がこの計画に基づいている。 	<ul style="list-style-type: none"> ●地方創生の取り組みを位置づける計画。 ●5年間の地方創生の取り組みについて、事業レベルで取り組み内容を定める。 ●これに基づいて行う行政施策は、地方創生に係るもののみ。 ●平成 27 年より策定が努力義務。

2. 総合計画と総合戦略の一体化策定について

総合戦略の取り組みは、多分野にまたがる取り組みが多く、また総合計画に位置付けられる長期スパンでのまちづくりと共通する考え方を有していることから、総合計画の中に位置づけることで、より一貫的な取り組みとすることが可能になります。

また、施策や事業の管理がしやすくなり、進捗管理についても明確かつ正確に行うことが可能となります。

国としても、「総合計画等を見直す際に、見直し後のこれらの計画等が、デジタルの力を活用した地方創生という目的が明確であり、目標や重要業績評価指標(KPI)が設定されるなど、地方版総合戦略としての内容も備えているような場合には、これらの計画等と地方版総合戦略を一つのものとして策定することは可能。(地方版総合戦略の策定・効果検証のための手引き(令和4年12月版)より抜粋)としており、今回の「総合計画後期基本計画」策定において、一体的に策定することとします。

3. 一体化の手法

総合計画後期基本計画においても、本市が直面する人口減少の克服に向けて、重点的・優先的に取り組む必要があることから、後期基本計画の「重点プロジェクト」として位置づけ、策定を行います。

具体的には、総合戦略の基本的視点、基本目標及び重点目標達成指標(KGI)を設定し、重要業績評価指標(KPI)を基本計画の目標指標とし、その実現によりKGIの達成を目指します。